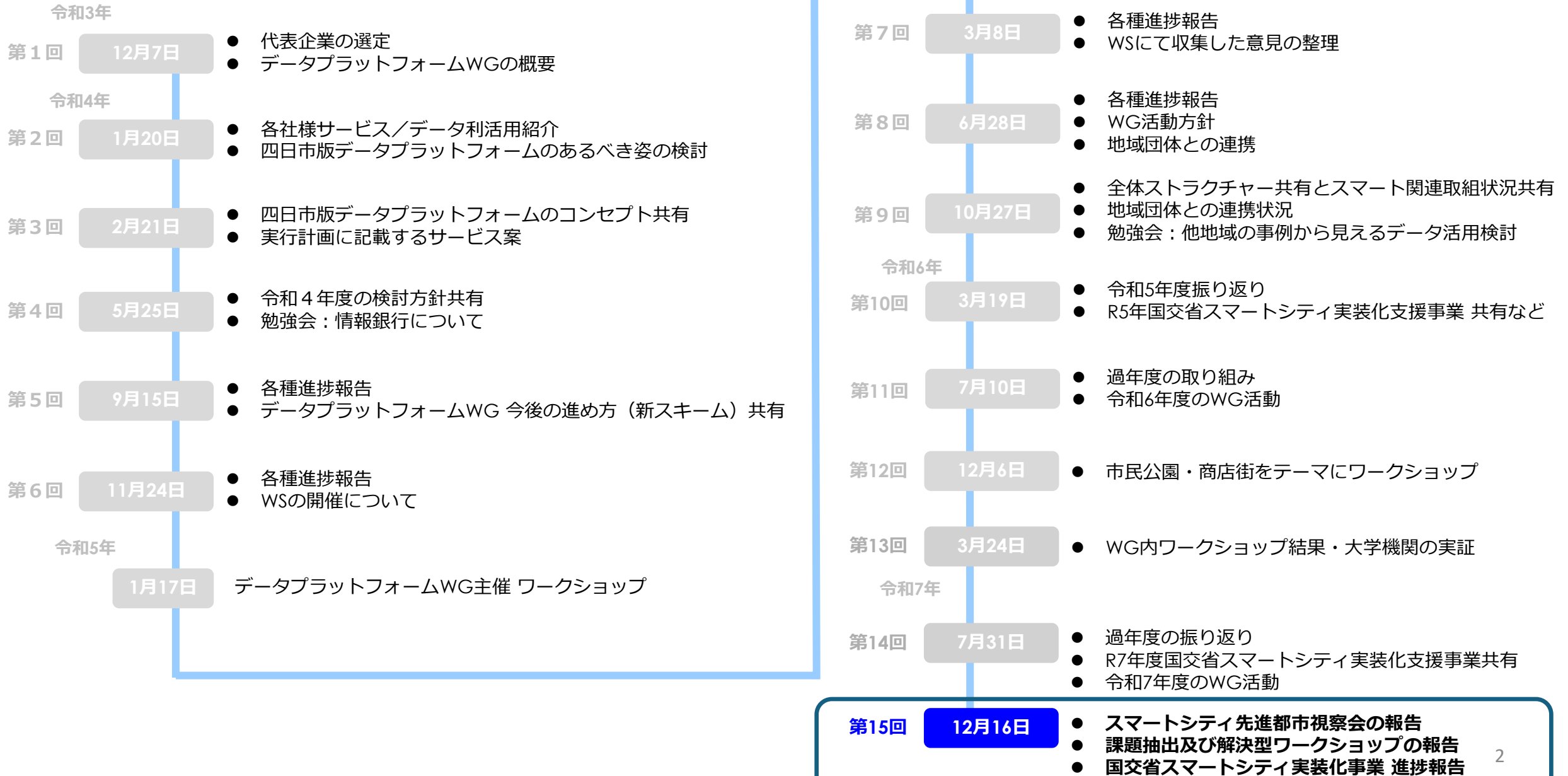






第15回 データプラットフォームWG (幹事会報告)

2025年12月24日 (火)

前回データプラットフォームWG（7月31日）振り返り



前回データプラットフォームWG（7月31日）振り返り

目的		中央通りでオープンデータを活用した全国初のサービスを推進
概要		中央通りで整備されている各種センサーデータ及び行政データを活用 ▶ 全国初のサービス企画及び実証実験、実装を推進する
活動テーマ		<ol style="list-style-type: none">1 スマートシティ先進都市視察会の開催 ・ 他市町事例から四日市ならではのデータ活用、新サービスを検討する2 課題抽出及び解決型ワークショップの開催 ・ これまでの課題やアイデアを整理し再開発が進行している今の新たな課題を抽出する
効果		<ol style="list-style-type: none">1 2 新サービス創造のヒントやWGメンバーの議論を活性化する

スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

ITを活用した実証実験など先進的な取り組みの推進、パブリックスペースの有効活用など四日市市の取り組みに共通する点が多くあるためうめきた公園の視察会を実施

「みどり」と「イノベーション」の融合による豊かな未来生活

Osaka MIDORI LIFE

市民・来街者 QOL向上

- 「みどり」の中で過ごし、活動することで心理的・身体的な健康が得られる
- 企業・研究機関等のサービス・プログラム・イベント・実証実験等により、新しい商品やテクノロジーを体験できる
- 公共空間の柔軟なマネジメントや、多様なプログラムへの参加・体験を通じて、新たな活動にチャレンジできる

企業・研究機関等 イノベーション創出

- 「みどり」の中で、ひらめきや創造的な発想が得られる
- 多様な属性の市民からの反応やフィードバックが得られ、新商品開発やマーケティングに繋げられる
- 情報・人・技術が集まるハブとして、新しい製品・サービス等の創出活動や実証実験ができる

Well-being
活き活きと創造的になれる

Innovation
市民と企業が新しいビジネスやライフスタイルを創造できる

Challenge
市民も企業も新しい活動にチャレンジできる

都心型パブリックスペースとしての価値を高める先進的でサステナブルな取り組み

高質な
みどり × 多様な
プログラム × イノベー
ション機能 × 公民
連携

公園としてのベースの魅力
自然本来の癒しの力や四季の体験・自然への気付き
うめきた公園

西日本最大の
ターミナル駅直結
交通アクセス

多様な人々が集まる
大規模複合開発
民間宅地との一体開発

企業・スタートアップ
大学・研究機関
ベンチャーキャピタル等支援機関
クリエイター等

「みどり」(=公園&民地屋外空間)を中心とした
“パブリックスペース”の利活用により実現する
活き活きとした、創造的な都市生活



FACTOR 1

みどりの中での癒しや四季の体感、
自然に対する気付きにより、
新しい発想と活力が生み出される



FACTOR 2

新しいパブリック空間の使いこなしや
テクノロジー活用によって、
多種多様な体験に出会える



FACTOR 3

市民やクリエイター、企業、大学が
新しい活動にチャレンジできる

- ・ イベント等賑わいづくりの取り組み
- ・ 気持ちよく過ごせる居心地の良い空間
- ・ 魅力的なコンテンツ、効果的な情報発信方法
- ・ オープンスペースの利活用方法

スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

公園DXの取り組み

◆データ活用の現状と目的

- ・現状はデータを蓄積している段階で、十分な分析・活用までは至っていない。
- ・担当者は今後、公園研究やイベント企画にデータを活かしたい意向を持っている。

●人流カウン트의結果

- ・公園入口にて人流カウントを実施。
- ・一般的な公園では「朝（子供連れ）」「夕方（下校後）」の2回ピーク。
うめきた公園では「昼～夜まで高止まり」、22～24時でも利用者が多い。

●危険行動検知

- ・北口開発エリアで危険箇所をAIカメラによりアラート検知。
- ・転倒検知は行っていない（芝生上で寝そべる人が多く、誤検知が頻発するため）

●スケボー検知・対応

- ・スケボーの乗り入れが課題。

AIカメラで検知した際、スピーカーで注意喚起を実施。

市民アンケートでも課題として挙げられ、警察との協議で「スケボー検知時のみ音声注意」は許可済み。

●喫煙検知（検討中）

路上喫煙は大阪市内で罰金1,000円。芝生への引火リスクも考慮し検知導入を検討。

●ゴミ分布の把握

カメラ付きトングを用い、朝7～8時の清掃時にゴミの位置・種類をデータ化。

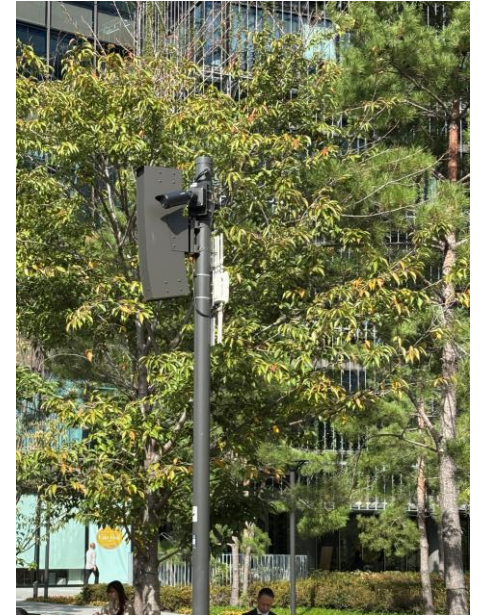
●気象データ活用

気温32℃を超えると利用者が減少。

噴水エリアでミストを活用したイベントを実施するなど、暑さ対策型の企画に反映。

●ビーコン設置

街歩きアプリと連動し、位置情報データを取得・活用。

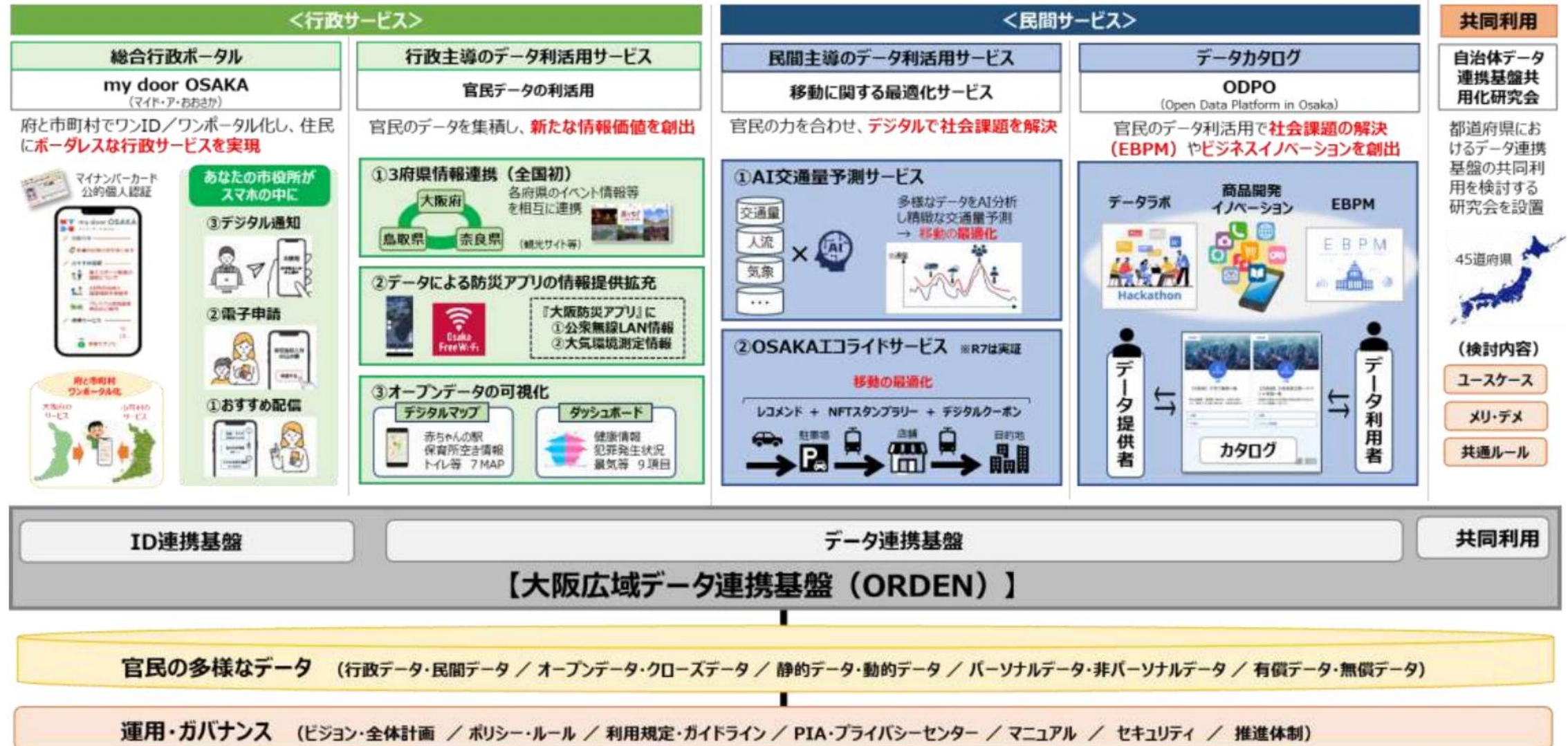


AIカメラとスピーカー



注意喚起板

◆官民連携の取り組み状況



課題抽出及び解決型ワークショップの報告

2025 YOKKAICISHI PARK DX WORKSHOP

四日市市 公園 DXワークショップ

【テーマ】デジタルサービスで「イベント最適化 × 日常の賑わい創出」

参加費
無料



子育て世代から高齢者まで、誰もが心地よい導線・滞在・情報発信を最適化！
オープンデータ × 現地観察で公園 DX をはじめとした中心市街地の利便性向上を
一緒に考えませんか？

開催日時

11.24 日 13:00～18:00

(受付 12:30 OPEN、交流会 18:00～19:00)

開催場所

ユマニテックプラザ

(三重県四日市市鶴の森1丁目4-2 8)

参加対象

四日市市の公園 DX に興味・関心がある

社会人・学生

定員

30 名程度

(参加費を当日お渡しします)

申込・締切・問合せ

右記 QR からご応募ください

締切 11.23 日 まで

〈事務局〉株式会社シー・ティー・ワイ

TEL : 0120-30-6500

E-mail : cty_ictso123@cty.co.jp

(月～土 日・祝除く 9:00～17:00)

※当日のタイムテーブル・内容は変更になる場合がございます

【ワークショップ概要】

オリエンテーション

オープンデータと先行事例

フィールドワーク

・四日市市民公園をみんなで観察しに行きます

アイデアワークショップ

・観察共有

・アイデア創発

・アイデアブラッシュアップ／まとめ

アイデア発表



課題抽出及び解決型ワークショップの報告

良い点

- ・ 近くに商業施設や飲食店が多い
- ・ FreeWi-Fiが整備されている
- ・ 噴水で遊べる
- ・ 広々としていて遊びやすい
- ・ 駅に近い
- ・ 家族連れが多い
- ・ 全体的にキレイになった
- ・ 植物が多くなり、程よく緑がある
- ・ イベントがしやすい
- ・ ベンチ、サイネージがある
- ・ 開放感がある
- ・ 日当たりが良い

課題

- ・ 日陰が少なく夏場が暑そう
- ・ トイレがない
- ・ ゴミ箱がなく、ポイ捨てが多い
- ・ 虫が多い
- ・ “公園”なのに遊具が少ない
- ・ 芝生が狭い
- ・ 自転車進入禁止が分かりづらく、自転車が入ってくる
- ・ 案内板がない
- ・ なんのイベントをしているかわからない
- ・ ベンチが汚い



アイデア

- ・ 環境センサを活用して日陰スポットを案内/自動開閉テント
- ・ 有料でいいからトイレ必要
- ・ ゴミ回収ロボ/センサ付きのゴミ箱設置/ゴミ拾いでポイントゲット
- ・ 子どもが遊べるようにタイルになにか映す
- ・ 悩める父母へ子どもと遊ぶ内容提案
- ・ 全面芝生
- ・ センサで監視/禁止ルール等を空中に投影する※特に入口
- ・ どの方向になにかがあるか大きな案内板を設置、案内ロボ

WGのアジェンダ

No	議事内容	配分	経過
1	ご挨拶 四日市市 デジタル戦略課 行政DX推進室 吉田室長様	3:00	0:00
2	前回WG（7月31日）振り返り	5:00	3:00
3	スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察、大阪データプラットフォーム勉強会報告	15:00	8:00
4	課題抽出及び解決型ワークショップの報告 公園DXワークショップの報告	15:00	23:00
5	国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告	15:00	38:00
6	このほか	2:00	53:00

55:00

スマートシティ先進都市視察会の報告

スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

公園DXの取り組み

【A I カメラ活用】

- ・国交省スマートシティ実装化支援事業（補助制度）を活用し、管理運営の高度化・効率化に向けた取組を実証中
- ・開発事業者により、防犯カメラに対し、AI画像解析システム「SCYLLA（スカイラ）」（全日警）を導入し、人流分析、行動検知を実施
- ・季節・天候・時間帯、イベント実施による人流増加状況をMMOとして把握し、大阪市との効果測定指標（KPI）の一つにも活用

人流分析



公園主要出入口でのラインクロスによる来園者数カウント

行動検知



管理上検知が望ましい来園者行動の自動検知・管理者へのメール通知
危険エリア立入事象に対し、スピーカー連動による自動注意喚起を導入予定

スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

公園DXの取り組み

- XRコンテンツの提供(ミラージュ大阪)
 - ・XRの技術を活用し、公園内で仮想空間を楽しめる体験サービスを実施
 - ・「ミラージュ大阪」として展開しており、年に2回ほどコンテンツを更新している
 - ・体験にはAppleのXRゴーグル(60万円)を使用している。
- 無人レジの導入(AVITA×ローソン)
 - ・テナント内にあるコンビニ（ローソン）では、AVITA社と連携した無人レジを導入
- 警備ロボットの活用
 - ・自立走行型の警備ロボット「sequence」が巡回



ミラージュ大阪



XRゴーグル



AVITA×ローソン



無人レジ



警備ロボット

スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

公園利用者向けサービス

【用具貸出（有料／無料）】

プレイスメイキングの一環として、来街者一人ひとりが自分たちの公園として思い思いに過ごせるよう、ファニチャーや遊具等の「貸出サービス」を実施



レジャーシート



チェア



ボウリング



けん玉



無料レンタルサービスを実施しファミリー層等に好評

※一般社団法人うめきたMMO資料

公園DXの取り組み

【データ活用】

●現状

情報発信やID活用は、阪急阪神ホールディングスの「OSAMPOアプリ」を通じて実施。
ポイント付与やイベント情報発信などを行い、来園促進や利用者データの蓄積を図っている。
現在は主にデータの蓄積段階であり、本格的な分析や利活用には至っていない。

●活用の考え・意向

- ・人流データのマネタイズについて、**データを可視化し、テナント企業へ提供することで店舗運営の参考情報として活用してもらいたいと考えている。**

例：来園者数や時間帯別の傾向をもとに、テナント側で食材の発注量などを調整する参考にしてもらう。
但し、うめきた公園はテナントが多いため、サービスの一環として提供してもいいと考えている。

- ・担当者としては、今後これらのデータを「**公園研究**」や「**利用者行動の分析**」に活用したいという思いを持っている。



『OSAMPOアプリ』アイコン
(イメージ)



『OSAMPOアプリ』のトップ画面

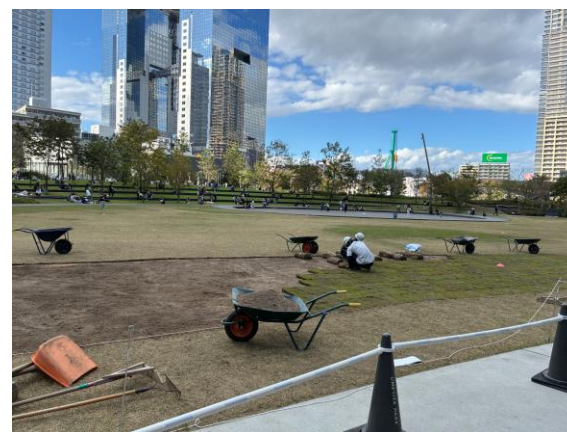
スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

その他取り組み

- ・メインのサウスパークでは、一年中美しい緑を維持するために夏用と冬用の芝生を入れ替える
- ・他エリアでは季節を感じてもらうために、年中夏用の芝生を使用



芝生を入れ替えの様子



芝刈りロボット

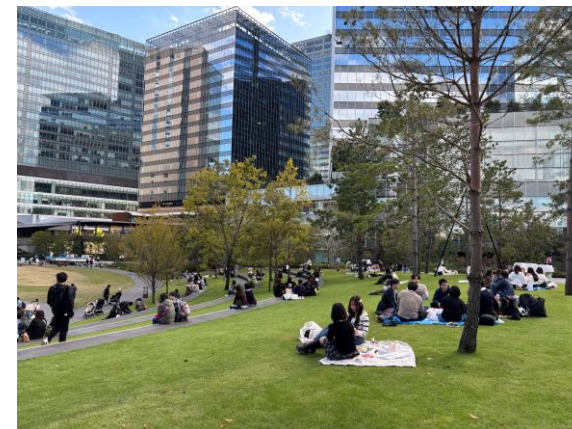
- ・芝生に“座って過ごす空間”ということを視覚的に伝える
- ・レジャーシートやチェアなどの無料レンタルを実施(一部有料あり)



公園の利用案内



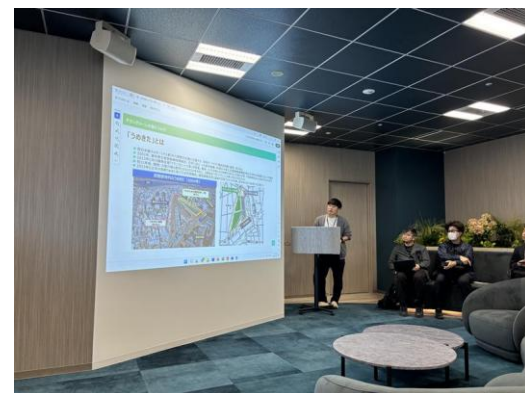
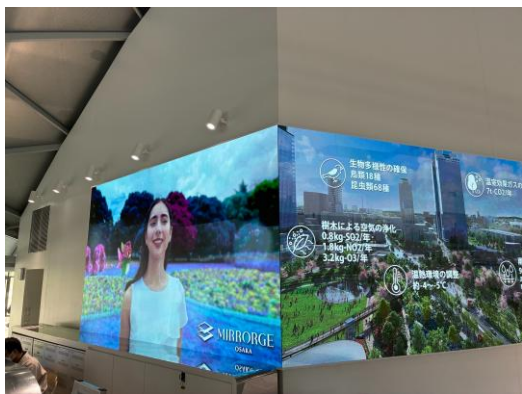
無料レンタルグッズ



実際の芝生エリアの様子

スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

うめきた公園視察の様子



スマートシティ先進都市視察会の報告 うめきた公園視察

先行まちびらきから約半年間で、概ね1000万人の方がご来場



サウスパーク 音楽イベント（全景）



サウスパーク 日中の様相



噴水・水盤の様相



サウスパーク 音楽イベント（ステージ側）



ステッププラザ 歩車道を活用したイベント



ノースパークの様相

老若男女・平日休日・時間帯問わず、思い思いの過ごし方をされている



休日の芝生広場



冬芝に切り替え中の芝生広場



夜間のサウスヒル・アンフィローン



平日の噴水・アンフィローン



用具貸出



夜間の芝生広場

大阪府オープンデータ利活用勉強会の様子



課題抽出及び解決型ワークショップの報告

課題抽出及び解決型ワークショップの報告

グループA: 走れ!!ダストシューター「ダッシュ君」

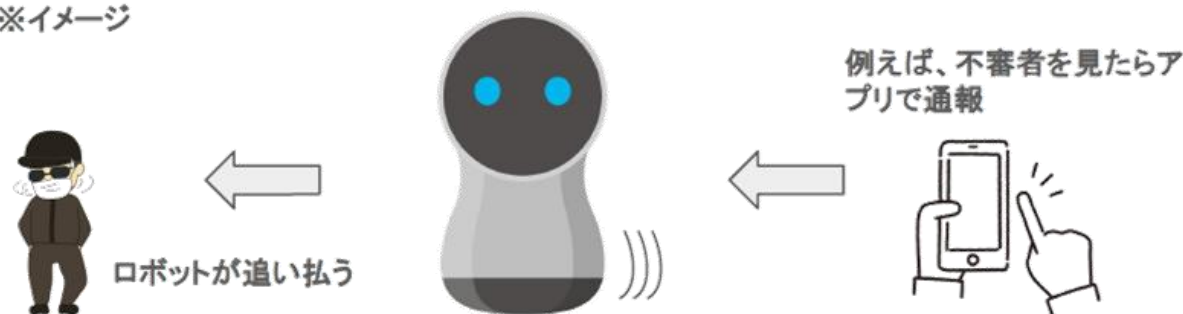


▼アイデア概要

公園の安心安全を守るコミュニケーション提供型快適ゴミ収集ソリューションの提案。イメージは、サイネージを搭載した自律型ロボットを公園に設置、専用アプリを提供。

公園利用者が不審者などを発見したら、専用アプリで通報、自律型ロボットが不審者を追い払う仕組み。

※イメージ



▼利用を想定するオープンデータ

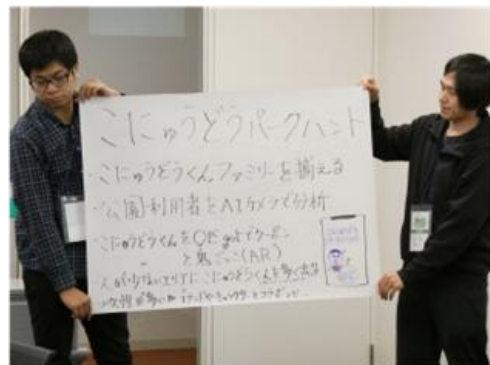
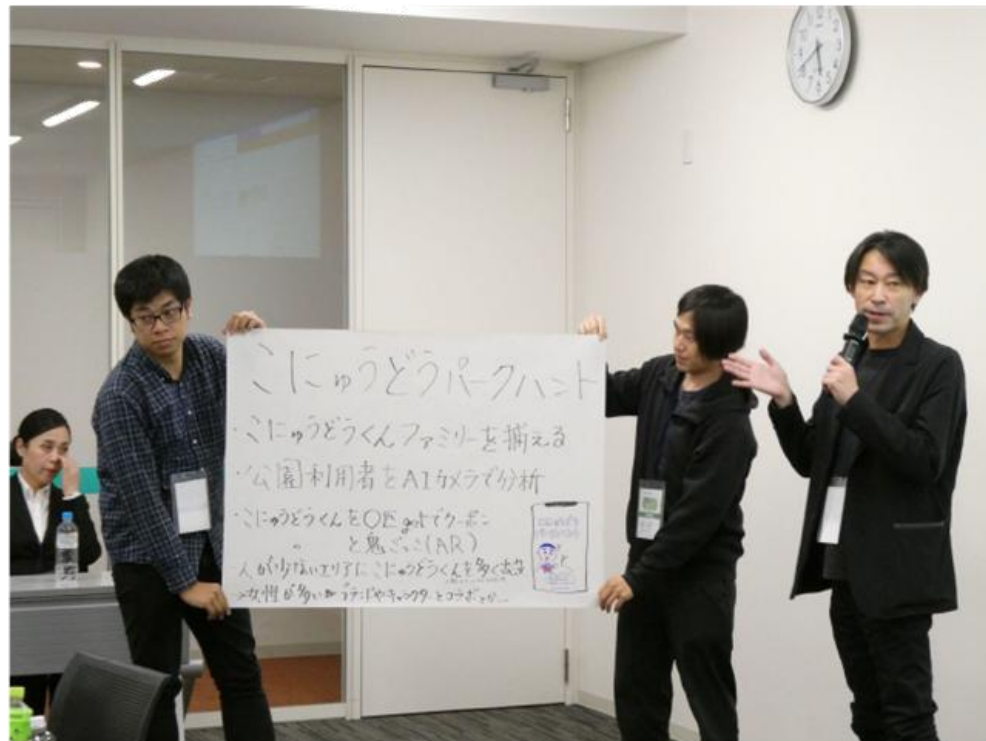
- ・人流データ: ニワミチよっかいちを活用
- ・環境データ: 公園設置のセンサーデータ活用
- ・店舗・事務所データ: 四日市市オープンデータカタログを活用

※その他収集データ(提供アプリ等で独自収集)

- ・ごみ分別データやゴミ減量データを収集して分析に活用



グループB:こにゅうどうパークハント



▼アイデア概要

公園利用者を対象にARゲーム「こにゅうどうくんパークハント」を提案。ARでこにゅうどうくんを表示させ、いっぱい捕まえたらクーポンを発行したり、こにゅうどうくんと鬼ごっこできるゲームなど、利用者が楽しめるアプリ。AI分析なども活用し、人が少ないエリアに多く出現させ誘導したり、地元企業を中心にコラボイベントの実施など公園を中心に近隣商店街などに賑わいを生むアイデア。

※イメージ

例えば、
ARゲームでこにゅうどうくんを
たくさんゲット



近隣店舗(商店街等)
で利用できるクーポンゲット



▼利用を想定するオープンデータ

- ・人流データ:ニワミチよっかいちを活用
- ・近隣店舗データ:四日市市オープンデータカタログを活用

※その他収集データ(提供アプリ等で独自収集)

- ・利用者属性や行動パターンなどデータ収集してゲーム機能に反映

課題抽出及び解決型ワークショップの報告

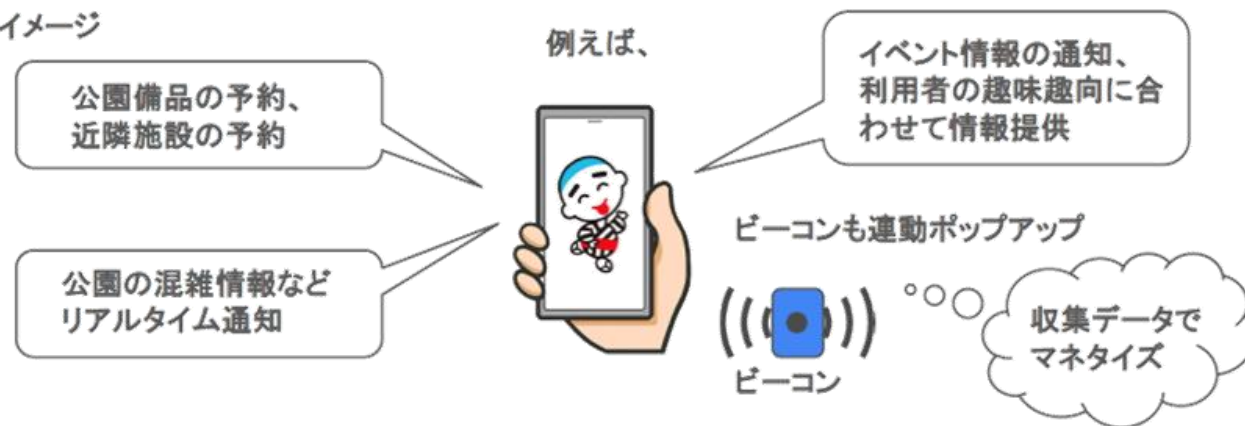
グループC:四日市スマート家族パーク ～見守りもイベントも公園が家族の味方に～



▼アイデア概要

施設や備品の予約、公園利用者の見守り、イベントの通知までオールインワンで提供するアプリサービスを提案。またビーコン利用した広告通知や、アプリで取得したデータを2次利用し、イベント企画などに提供してして収益を得る案も。VR機能で里山体験ができるサービスも提案。

※イメージ

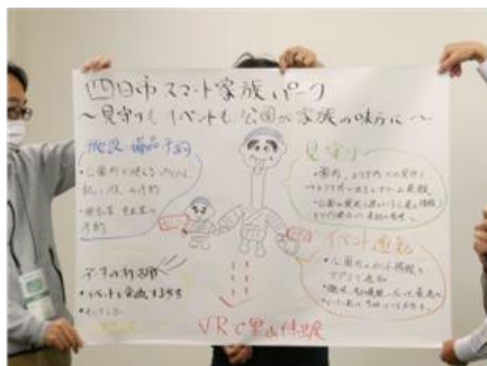


▼利用を想定するオープンデータ

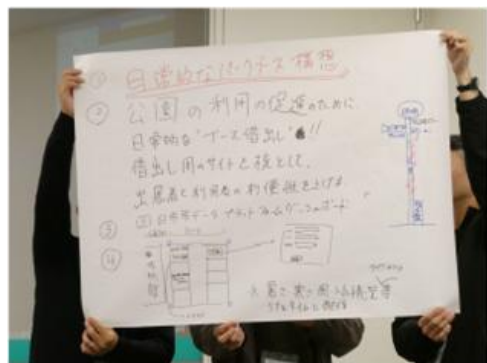
- ・人流データ: ニワミチよっかいちを活用
- ・環境データ: 公園設置のセンサーデータ活用

※その他収集データ(提供アプリ等で独自収集)

- ・利用者の行動データやイベント集客データなどを収集して分析に活用、またイベント企画会社へのデータ販売等



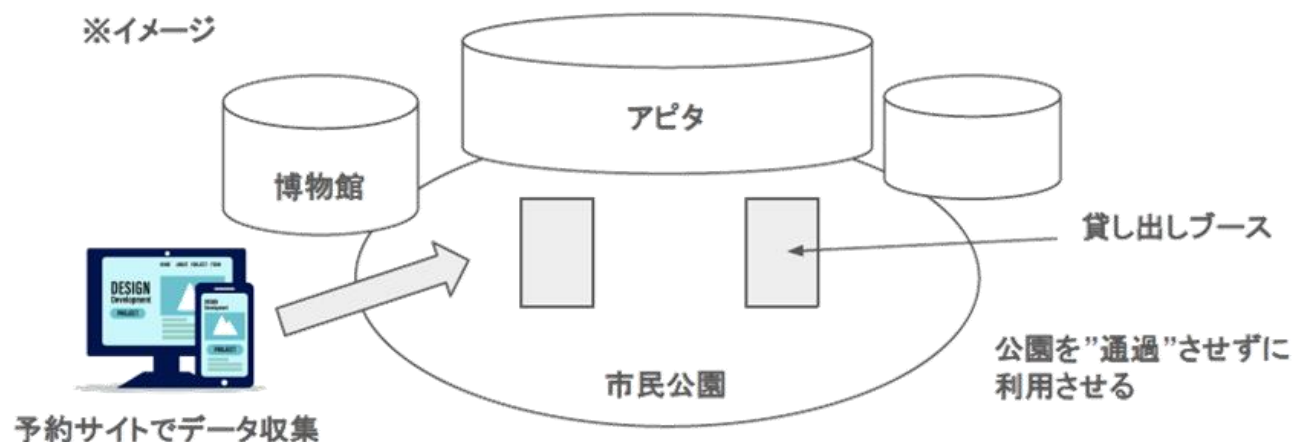
グループD: 日常的なパークブース構想



▼アイデア概要

公園の日常的な利活用につなげるため、公園内に貸し出しができるブースを設置、事業者が有効活用できるようにし賑わいにつなげる提案。常にブースが出店されることにより、近隣企業などの昼食スポットや憩いの場として、公園利用者を呼び込む。

※イメージ



▼利用を想定するオープンデータ

- ・人流データ: ニワミチよっかいちを活用
- ・環境データ: 公園設置のセンサーデータ、ライブカメラ映像活用

※その他収集データ(提供アプリ等で独自収集)

- ・店舗の利用状況などデータ収集して分析に活用

国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

取組み

①

「利活用空間利用者等に対するデータ提供実証実験を実施」

不動産業界など人流データ提供の需要が高いと思われる業種へサウンディング調査やヒアリング調査を行い実装に向け提供方法や料金設定等を明確化し実装につなげる。

取組み

②

「災害情報コンテンツ効果検証を実施」

津波警報などの緊急災害情報を四日市データプラットフォームと連携する。
緊急時には市民公園サイネージに緊急情報を割込みアナウンスを行い、
来街者の安心安全な中央通りにつなげる。

国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

取組み① データ可視化サービス実装に向けた市場調査

概要

持続的な運営のためのデータ提供方法（マネタイズ）について市場調査実施

実施内容

- ・ 人流／車両データをビジネス戦略として活用する可能性の高い業界を重点ターゲットとして設定する
- ・ 重点ターゲット業界ごとにダッシュボードパッケージ（案）を提案する
- ・ ターゲット企業へヒアリング及びアンケートを実施する
- ・ ターゲット企業以外の事業者へも広くデータビジネスの可能性について調査する

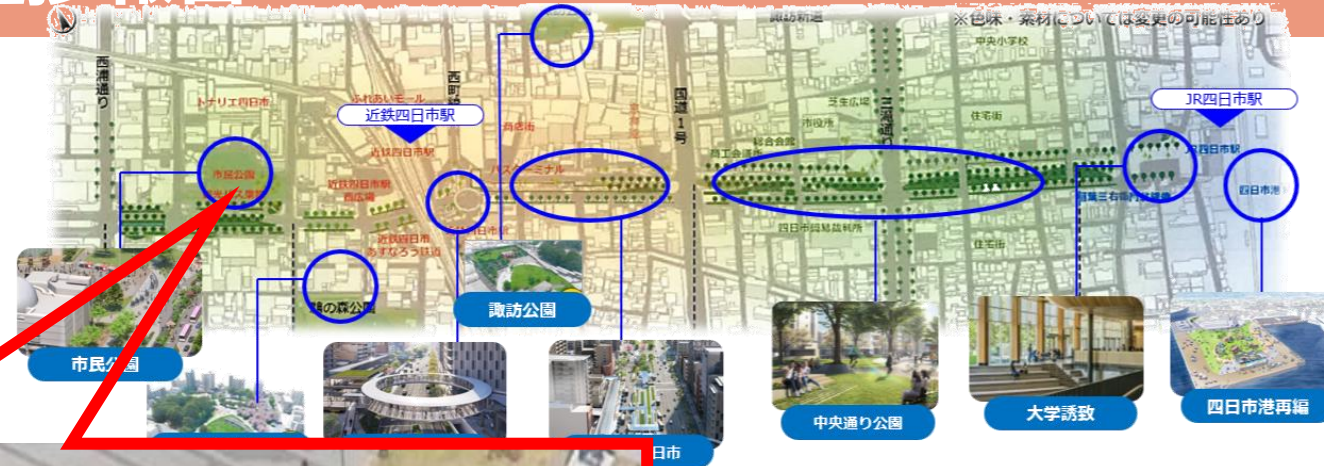
結果

市場調査結果から次年度以降データビジネスの可能性及び提供方法について検討する

国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

振り返り) 中央通りにて収集しているデータ

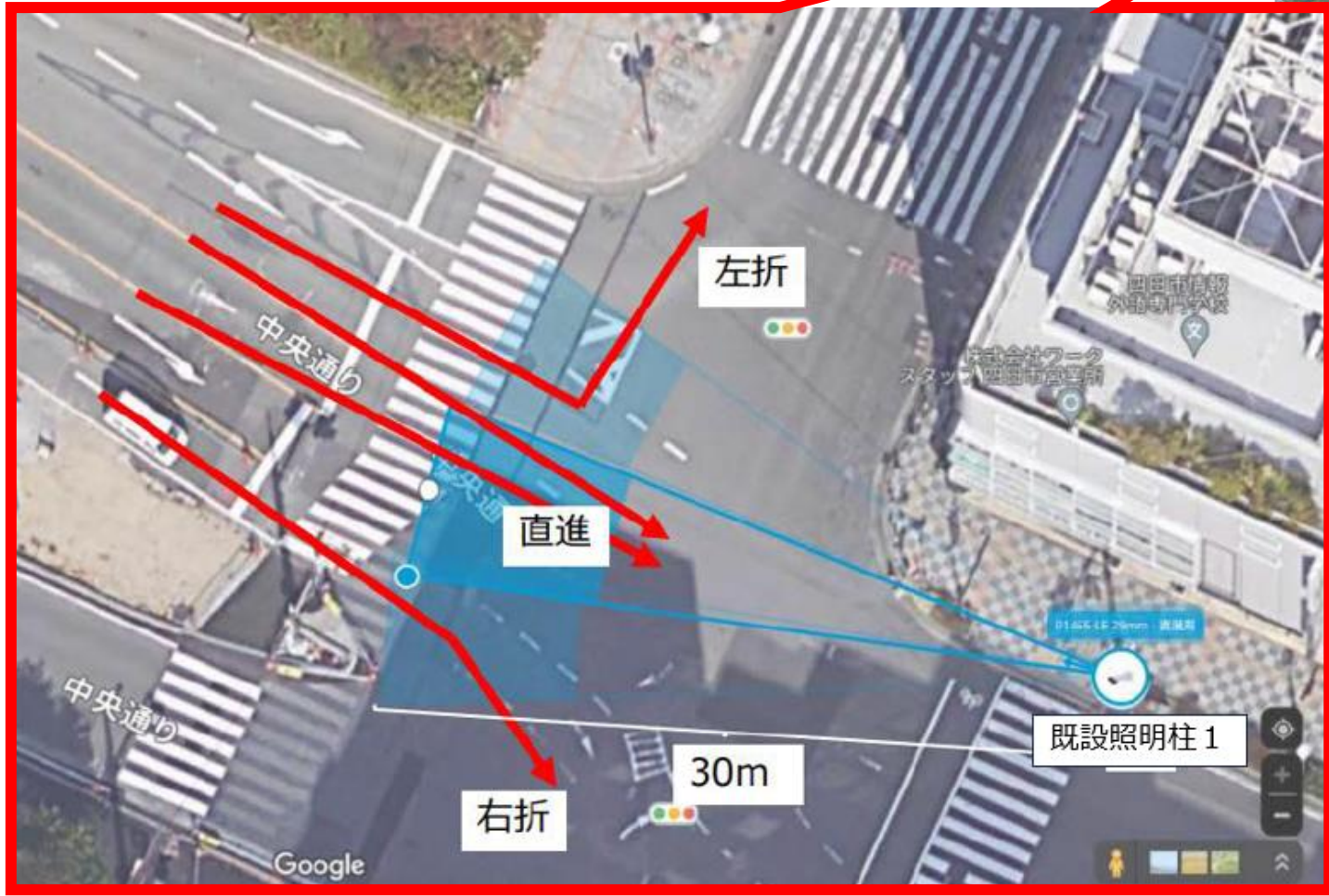
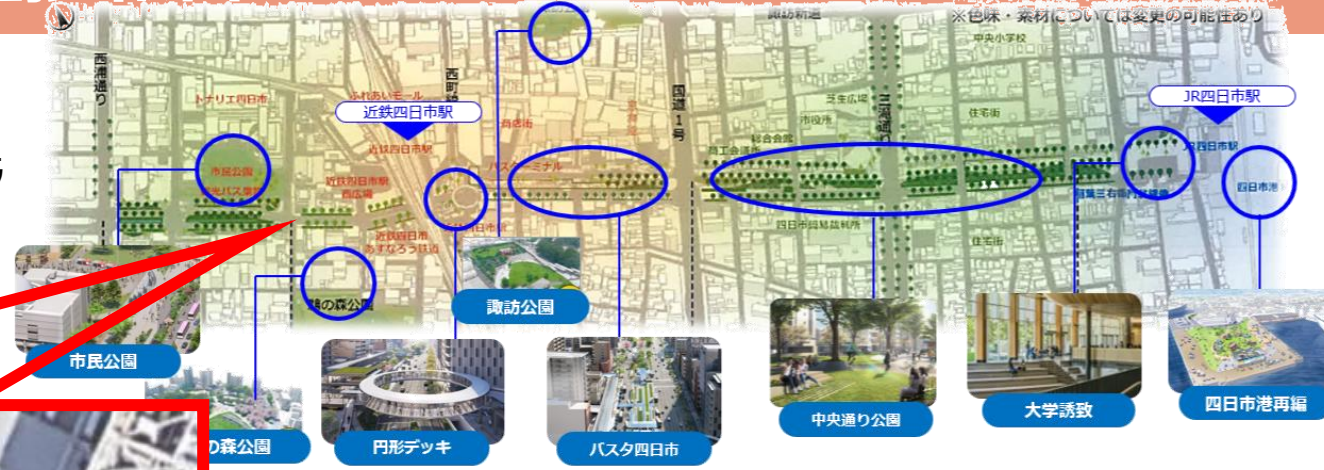
渋滞検知カメラ



国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

振り返り) 中央通りにて収集しているデータ

交差点(右左折,直進)車両台数カウントカメラ



振り返り) 中央通りにて収集しているデータ

[illegible]

人数カウント→4台
混雑→2台
属性→2台

計8台

国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

振り返り) 中央通りにて収集しているデータ

ニワミチポータルサイト

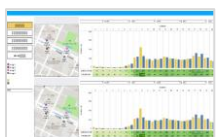


<https://niwamichi-yokkaichi.com/>



データ可視化サービス +tableau+public

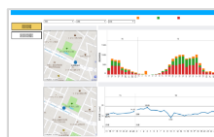
四日市市_イベント分析



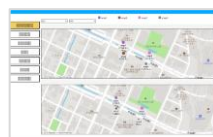
四日市市_Wi-Fiアンケート



四日市市_車両



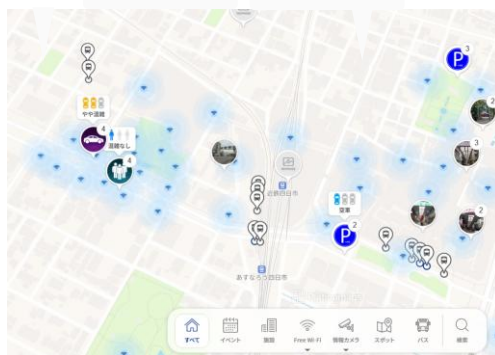
四日市市_人流



デジタルマップサービス Platinumaps プラチナマップ

混雑状況

Wi-Fiエリア



中央通りエリアマップ

データ活用

四日市データプラットフォーム



属性 (性別, 年代)
人数カウント混雑状況



左右直進の車両台数
左折車線の混雑度



アンケート認証情報



温度/湿度/気圧
風向/日射/感雨/雨量



災害情報



システム利用情報



中央通りエリア

AIカメラ (人流)

AIカメラ (車両)

公衆Wi-Fi 無線AP

環境センサ

災害情報システム

各種システム

国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

重点ターゲット企業一覧

人流データなどを市場調査に活用する可能性の高い不動産開発事業者、広告代理店、都市関連研究者等を重点ターゲット事業者を設定し市場調査を実施

ターゲット企業	対象者
不動産開発事業者	三交不動産
	ダイワハウス
広告代理店	アド近鉄 公益社 長田広告 アビグローバル
都市関連研究者	東京大学 村山教授
	武蔵大学 庄司先生
臨海部企業	東ソー
マーケティング会社（大手）	ゼンリンマーケティング ソリューションズ
行政	市各部署（デジタル戦略課）
事業者（マーケティング担当）	近畿日本鉄道株式会社 近鉄グループホールディングス株式会社

【不動産開発事業者向けダッシュボードパッケージ（案）】

人流×気温可視化ダッシュボード

想定する効果：人流×気温データ利活用価値について不動産業界では下記の複数分析的・戦略的価値があると考えます。

1. 立地評価

例) 夏場や猛暑日に人流が大きく減るエリア → 日陰や冷却設備がないなど「快適性の低さ」が示唆される。
一方、気温が高くても人流が維持される場所 → 屋内施設・商業施設・地下街など、
快適性の高い立地が推測できる。

2. 商業施設・住宅開発の企画判断

・開発段階で「年間を通じて集客が安定する立地」かどうかを評価可能です。

3. テナント誘致・店舗戦略

夏や冬など季節要因で来訪が減る立地では、

- ・カフェや屋内アクティビティ系テナントの誘致
- ・日除け・ミスト設備などの環境改善

といった対策を検討できます。

➡ 来街者数の気温依存性を把握することで、季節変動リスクを織り込んだテナント戦略が立てられます。

4. 不動産価値評価・賃料査定への応用

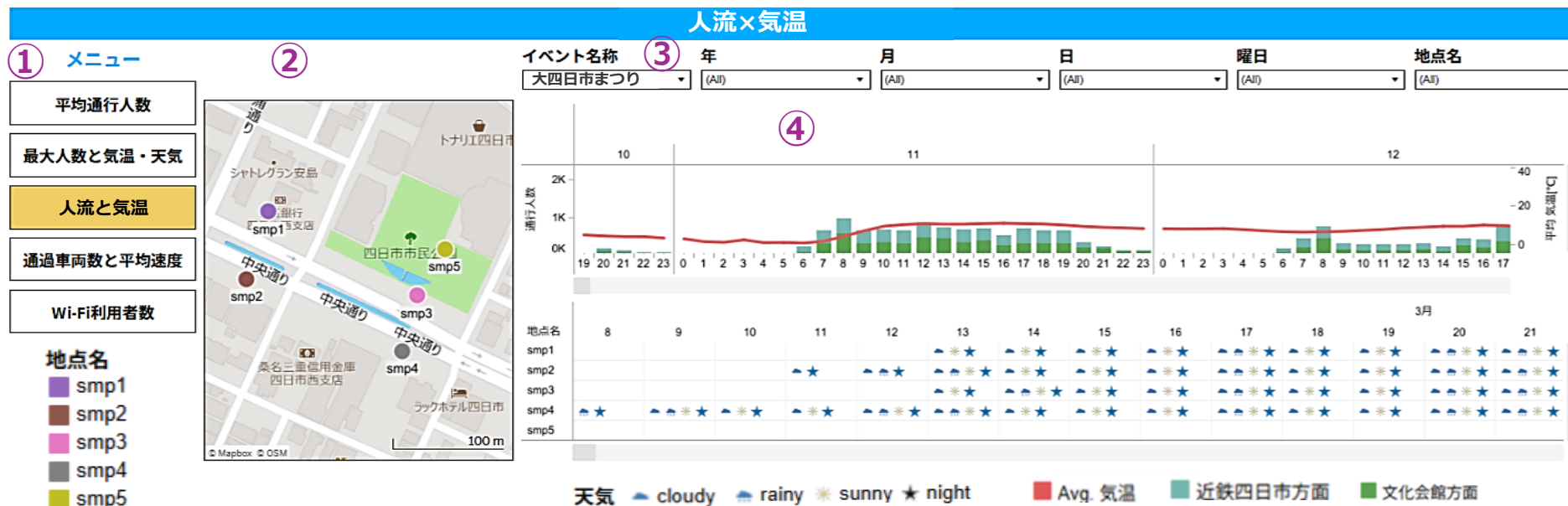
気候に左右されず人流が安定しているエリアは、

➡ 立地価値が高く、賃料リスクが低いと判断できる。

逆に、気候に依存しやすい場所は、シーズナリティ要因を考慮した価格設定が可能。

【不動産開発事業者向けダッシュボードパッケージ（案）】

人流×気温可視化ダッシュボード 画面イメージ



① サービスメニュー

収集している様々なデータを分析するための標準メニューとなります。
人流×気温以外にもWi-Fi利用者数では公衆Wi-Fi利用者数や利用者の年代、性別での利用者割合も可視化しています。

② データ収集ポイント

AIカメラの緯度・経度をもとに地図で表現します。
地点を選択することで、他のグラフ、表にフィルタがかかります。

③ 分析対象日時の指定

分析するための条件設定を行います。
条件はイベント名、年月日を選択することで、表にフィルタがかかります。

④ 平均通行人数

上段：近鉄四日市駅方面と文化会館方面の平均人数を指定した条件に基づきに表形式で表現します。

下段：指定した年月日での時間毎の天候を表現しています。

【広告代理店事業者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】

通行人数×属性可視化ダッシュボード

想定する効果：通行人数×属性データ利活用価値について広告代理店では下記の複数分析的・戦略的価値があると考えます。

1. ターゲット層の「実際の出現状況」を把握できる

- ・ 広告想定ターゲット層（例：20～30代女性）が、どの時間帯・どの場所に多く出現するかを把握できます。これにより、広告出稿エリア・時間帯の最適化が可能になります。

2. 媒体価値（OOH・屋外広告）の可視化

- ・ デジタルサイネージや駅構内ポスターなどの広告接触機会を、実際の通行人属性と連動して算出できる。
- ・ 「どんな人がどれくらい見るか」を示すことで、媒体価値を定量的にクライアントへ説明できます。

3. 地域特性・商圈分析に活用できる

性別や年代別に人流を分析すると、エリアの「来訪者タイプ」が分かる。

例：昼は30代女性が多い → カフェ広告が有効

夜は男性サラリーマン層が多い → 居酒屋広告が有効

店舗開発や販促エリアのターゲティング精度を高められます。

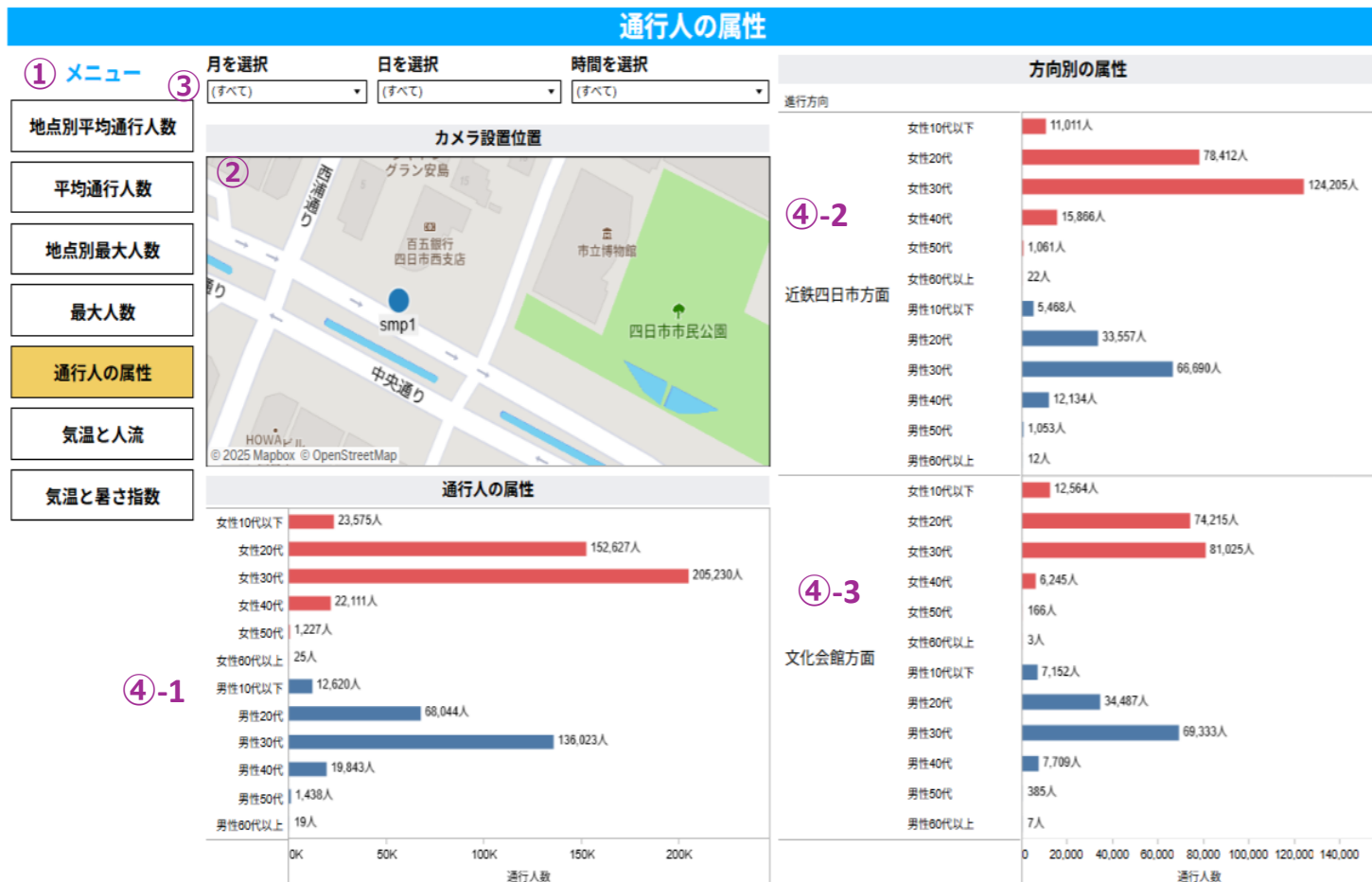
4. 時間帯・季節要因との掛け合わせによる行動パターン分析

「平日昼は主婦層が多く、休日はファミリー層が増える」といった行動変動の把握が可能。

イベントやキャンペーンのタイミング設計に役立ちます。

広告代理店事業者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ]

通行人数×属性可視化ダッシュボード 画面イメージ



① サービスメニュー

収集している様々なデータを分析するための標準メニューとなります。

通行人の属性以外にもWi-Fi利用者数では公衆Wi-Fi利用者数や利用者の年代、性別での利用者割合も可視化しています。

② データ収集ポイント

AIカメラの緯度・経度をもとに地図で表現します。地点を選択することで、他のグラフ、表にフィルタがかかります。

③ 分析対象日時の指定

分析するための条件設定を行います。条件は年月日を選択することで、表にフィルタがかかります。

④ 通行人数集計グラフ

④-1 「近鉄四日市方面」「文化会館方面」の総人数の属性別通行者人数を表現しています。

④-2 「近鉄四日市方面」の総人数の属性別通行者人数を表現しています。

④-3 「文化会館方面」の総人数の属性別通行者人数を表現しています。

【都市関連研究者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】

人流量×気温、通行車両台数×気温ダッシュボード

都市開発による環境変化の研究に用いられるデータパッケージ
ヒートアイランド現象を評価する指標として「人流量」と「気温データ」を活用
なぜ「人流量 × 気温」が重要なのか？

観点	意義	補足説明
① 熱負荷の要因分析	人の活動 ↓ 排熱量増加	人が多いエリアでは車両・空調・商業施設稼働が増え、人為的排熱（Anthropogenic Heat）が大きくなるため、気温上昇との関係を分析できる
② 都市構造との関係可視化	人が集まる場所の熱環境評価	駅周辺・繁華街など高人流地域での気温傾向を捉えることで「どこに施策が必要か」を判断しやすくなる
③ ヒートストレス評価	熱中症リスクの推定	人が密集しているエリアで高温状況が続く場合、熱ストレスの指標（WBGTなど）導入によるリスク評価に発展できる
④ 対策効果の検証	緑化・遮熱舗装などの評価	対策前後の「人流量と気温の関係変化」から、都市環境改善施策の効果を検証できる

具体的にどう活用できるのか？

- 1. 時間帯別分析
例：昼休みや夕方の帰宅時間帯に人流が急増
→局所的に気温が上昇していないかを確認。
- 2. 空間比較
例：人流が同程度でも、樹木があるエリア vs コンクリート舗装のみのエリアで気温差を比較
→ 都市設計への示唆。
- 3. 排熱推定の補助変数として
交通量や商業稼働と相関する人流量を「人為的排熱の代理変数」として活用可能。

参考)

現在保有している環境データ

観測要素) 気温／湿度／気圧／風向／風速／日射／感雨／雨量

統計処理) 気温／湿度／現地気圧／海面気圧／平均風速（10分間）／最大瞬間風速／最大瞬間風速時風向／日射／感雨／区間雨量／時間雨量／降水強度／連続雨量／実行雨量／現在天気／簡易WBGT

追加検討可能な環境データ

観測要素) PM2.5、CO2排出量

【都市関連研究者向けデータ可視化サービスのダッシュボードパッケージ】 人流量×気温、通行車両台数×気温ダッシュボード



●サービスメニュー

①カメラ設置位置

AIカメラの緯度・経度をもとに地図で表現します。
地点を選択することで、他のグラフ、表にフィルタがかかります。

②曜日別通行人数

近鉄四日市駅方面と文化会館方面の平均人数を曜日別に表形式で表現します。
曜日を選択することで、表にフィルタがかかります。

③滞留／通行人数

最大人数(上図)、通行人数(下図)でそれぞれ近鉄四日市駅方面と文化会館方面の通行人数を縦軸、時間を横軸にした棒グラフ形式と平均人数を時間別で表した表形式で表現します。



●サービスメニュー

①車両カウント設置位置

交差点の通過車両カウントの位置を地図で表現します。

②渋滞検知カメラ設置位置

渋滞検知を行っている位置を地図で表現します。

③交差点の通過車両数

交差点の通過車両数、気温を縦軸、時間を横軸にした積み上げの棒グラフで表現します。

④平均速度

車両の平均速度を縦軸、時間を横軸にした折れ線グラフで表現します。

国交省スマートシティ実装化事業 進捗報告

【速報値】 ※2025年12月3日時点でのまとめ

◆データ活用状況

- ・市場全体として「**活用意向はあるが、実装は進んでいない**」層が多く見られた

◆活用・検討されているデータの種類

- ・人流×交通×気象は 都市・商業・防災・広告・小売での利用価値が直結しやすいため理解が進んでいる。
- ・**大学の研究機関は、可視化されたダッシュボードではなく生のデータベースとの直接連携を求められるケースが多かった**

◆活用目的

- ・活用目的は「収益向上型（マーケティング／販促）」、「効率化型（オペレーション改善）」に大別される。

◆収益化が見込める分野

- ・収益化余地は「人の動きに売上が連動する業界」が中心

◆データ購入の月額コスト感

- ・定額制の利用料形態においては、5万円以内という回答が多かった
- ・**定額制を求める事業者よりも出店検討時期など一時的なデータ利用としてスポット利用料としてのサービスを求める事業者が半数を占めた**
- ・アンケート収集時のヒアリングで大学の研究機関は、学生が利用する場合はアカデミックパスによる割引や無償提供を求められるケースもあった
- ・**大学の研究機関では、2日間の気象データを収集するために100万円近く研究費を投資する場合もある**

◆データ活用の課題

- ・データの読み解きが難しい
- ・**費用対効果の説明が難しい**（社内説得が大変）
- ・データソースが複数あり統合できない
- ・人材不足

◆今後ほしい支援

- ・**AI分析、未来予測機能**
- ・**実際に利用されている事業者の利用事例（ユースケース）の提示**
- ・操作方法、分析手法のレクチャー
- ・自社業界向けのカスタム分析レポート
- ・APIでのシステム統合支援
- ・費用対効果の試算モデル

第12回WG 令和7年3月25日（火）

- R6年度四日市版MaaS事業の結果共有
- R7年度四日市版MaaS実施内容
- MaaSダッシュボードについて
- 意見交換

・ 令和6年度の四日市版MaaS事業の実証実験の結果共有と振り返り、及び令和7年度四日市版MaaS事業に関する議論を実施

第13回WG 令和7年7月29日（火）

- R7年度自動運転実証実験について
- R7年度四日市版MaaS事業について
- 対外活動について
- 意見交換

・ 令和7年度の自動運転実証実験及び四日市版MaaS事業の方針共有、および今後に関する議論を実施

第14回WG 令和7年12月18日（木）

- R7年度自動運転実証実験について
- R7年度四日市版MaaS事業について
- ワークショップ
- 意見交換

・ 令和7年度の自動運転実証実験及び四日市版MaaS事業の進捗状況の共有、MaaSデータダッシュボードの活用ワークショップ、および今後に関する議論を実施

第14回モビリティWG 令和7年12月18日（木）

◆ R7年度自動運転実証実験の進捗共有

- R7年度は技術的な検証をメインに実施

検証概要

実装時の走行予定区間での実施

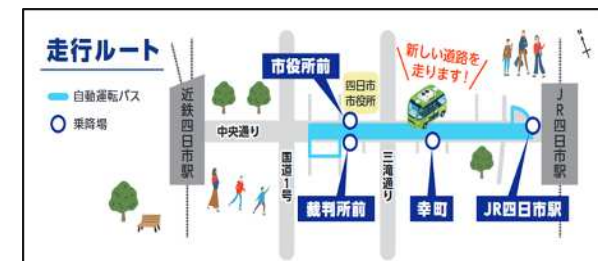
令和7年10月に中央通りの車線が南側に集約されたことから、完成した道路での実証にて社会受容性の醸成を図り、走行環境の検証を実施

新たに搭載されたAIカメラによる信号機の色認識

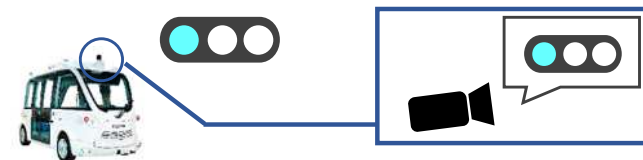
今年度走行するEVO3から車両に搭載されたAIカメラにより色認識の実証を行い、走行区間における検証を実施

運転状態の可視化

利用者が車内において、手動運転か自動運転かを視覚的に確認できる仕組みを導入



R7年度ルートマップ



イメージ



第14回モビリティWG 令和7年12月18日（木）

◆ R7年度四日市版MaaS事業の進捗共有

- 四日市版MaaS（Phase-1）の最終検証と実装を実施
- 交通に関する潜在的なニーズや地域課題をデータから発見でき、PDCAの円滑化を期待

スマートシティ実装化支援事業「事業 利活用空間活性化ツール」で構築した
四日市デジタルマップ及び四日市市データプラットフォームダッシュボードを利用

取り組み

四日市版MaaS機能の拡充

- 既存情報（駐車場）の拡充
- 新規情報（駐輪場・観光資源・イベント情報、公共施設情報）



取り組み

MaaSデータダッシュボードの構築

- 四日市デジタルマップ利用履歴
- バスの運行状況（平均遅延情報）の可視化
- 公共交通の乗降データの可視化
- 駐車場満空データ蓄積による使用率の可視化



モビリティWG 実施報告

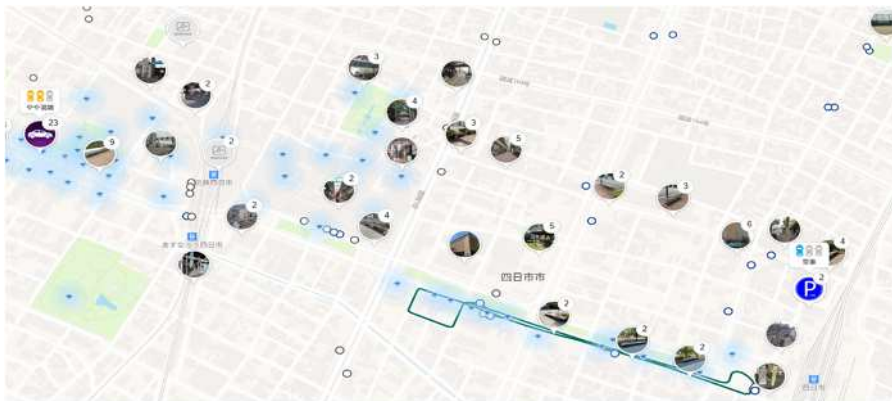
第14回モビリティWG 令和7年12月18日（木）

◆ R7年度四日市版MaaS事業の進捗共有

- 四日市デジタルマップの拡充：2025年10月1日に更新完了
- ダッシュボードの構築：部分的に実装済み、残りは構築中

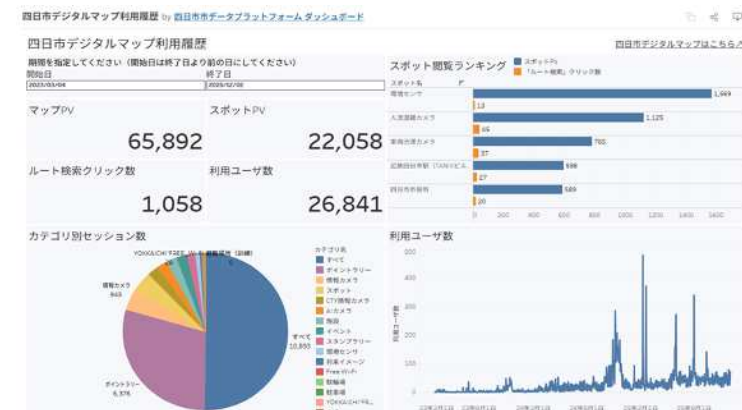
四日市デジタルマップ

- 駐車場：情報連携済
- 観光資源：公共交通で行ける情報を拡充中
- 駐輪場：公共の駐輪場情報を掲載済み
- ベンチ：中心市街地のベンチ情報を掲載済み
- イベント：BAURAミーティングにて連携済



MaaSデータダッシュボード

- 【完了】四日市デジタルマップ利用履歴
- 【構築中】バスの運行状況（平均遅延情報）の可視化
- 【構築中】公共交通の乗降データの可視化
- 【完了】駐車場満空データ蓄積による使用率の可視化



モビリティWG 実施報告

第14回モビリティWG 令和7年12月18日（木）

◆ R7年度四日市版MaaS事業の進捗共有

検証項目	検証方法	目標	概要	判定
MaaSデータダッシュボードの有用性	アンケート調査	5段階評価で各カテゴリの設問に対して、5割以上が肯定的（スコア4以上）の回答 ・ユーザーインターフェースの観点 ・継続利用性の観点	集計中 MaaSデータダッシュボード利用者へのアンケート調査を実施	—
スマートシティポータルサイトへのアクセス数	四日市デジタルマップのアクセス数を計測	新規情報構築後のアクセス数が5,000件/月以上 （2025年10月～2026年1月）	計測中 機能拡充と新規構築による四日市デジタルマップへのアクセス数と取り組み前後の推移を計測 （R6年度では約4,000件/月）	—
四日市版MaaSの満足度	アンケート調査	5段階評価で各カテゴリの設問に対して、5割以上が肯定的（スコア4以上）の回答 ・ユーザーインターフェースの観点 ・有用性の観点	実施中 四日市デジタルマップ利用者へのアンケート調査を実施	—
施設利用者数の増加	こにゅうどうレンタサイクルの利用者数を計測	過年度のイベント時の利用者（28人）と比較して、利用者が23人 増加（目標利用者数51人） 前年度イベント来場者数（約2,300人）の1%、JR・近鉄側で相互利用可能なため、全体で23人増を目標	完了 中心市街地で開催されるイベント時のこにゅうどうレンタサイクルの利用者数の増加傾向を計測 （前年度のイベント時の貸出台数28台）	貸出台数 37台で未達

モビリティWG 実施報告

第14回モビリティWG 令和7年12月18日(木)

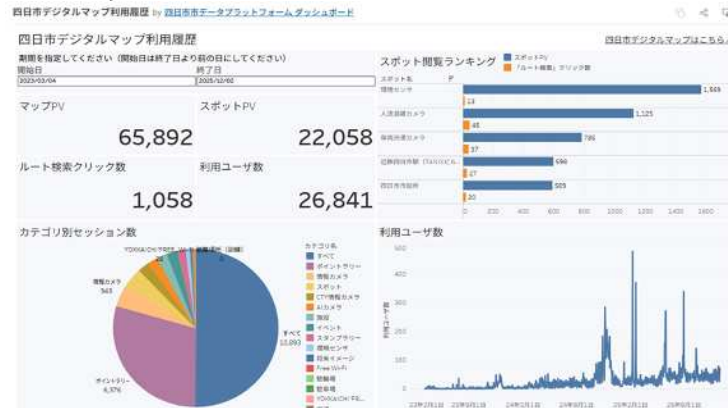
◆ ワークショップについて

- ・ 構築が完了した「四日市デジタルマップ利用履歴」ダッシュボードの体験会を実施
- ・ 「潜在的なニーズや地域課題をデータから発見できる」ダッシュボードにしていけるための意見交換

▼データ元



▼ダッシュボード



当日のご意見

- ・ 前提となっている元のデータ(デジタルマップ)に市外のデータが入っているので、四日市市だけに絞れてもよい
- ・ 人流データと掛け合わせ、店舗の入り状況を分析できるとよい
- ・ タブレットだとスクロールが出てこない など

第14回モビリティWG 令和7年12月18日（木）

◆ 今後の取り組みに向けた意見交換

四日市版MaaSの利便性向上として、独自にMaaSサービスを保有する事業者との連携を検討

- ・ 三重交通様より、三重交通グループアプリのご紹介

2. 画面・機能紹介

■ トップ画面

- ・ 最新情報やよく使われる路線バス検索をトップ画面に配置し、ユーザビリティに配慮
- ・ 外部サイトへのバナーエリアから、グループ内に限らず様々な情報・サービスにアクセス



3

2. 画面・機能紹介

■ エリア情報、チケット・クーポン



4

令和7年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会 第2回幹事会
出席者名簿

別添1

12月24日（水）14：00～16：00
四日市商工会議所 3階 大会議室（オンライン併用）

	区分	所 属	氏 名	出 欠	随 行	現地／オンライン
幹事会 役員	有識者	東京大学 大学院 工学系研究科 教授	村山 顕人	○		現地
		名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	○		オンライン
		早稲田大学 理工学術院 教授	有賀 隆	○		オンライン
	交通 関係者	近畿日本鉄道(株) 鉄道本部 名古屋統括部 施設部長	三重 和宣	代理出席 名古屋統括部施設部工務課 主査 牧野 修幸		オンライン
		三重交通(株) 取締役	高田 和昭	代理出席 企画部 部長 小瀬古 恵則		現地
		三岐鉄道(株) 自動車部 運行管理課 課長	伊藤 真郷	○		現地
		（三重県タクシー協会北勢支部・支部長代理） (株)三交タクシー 代表取締役社長	内山 宣哉	○		現地
	商工関係者 大規模権利者 事業展開企業	学校法人みえ大橋学園 理事長	大橋 正行	欠席		－
		(株)近鉄百貨店 四日市店 営業推進部 マネージャー	木室 康弘	欠席		－
		四日市商工会議所 専務理事	山下 二三夫	○		現地
		(株)ディア四日市 代表取締役 社長	鈴木 主計	欠席		－
		近鉄グループホールディングス(株) 総合政策本部 事業推進部 部長	赤井 智明	○	総合政策本部 経営企画部 課長 森 有一郎(オンライン) 係長 坂井 厚太(オンライン)	現地
		近鉄不動産(株) 名古屋事業本部 賃貸事業部部長	吉田 健	○		オンライン
		(株)シー・ティー・ワイ 取締役 営業部 兼 お客様センター部 部長	伊藤 秀明	○	営業部 次長 山本 龍太(現地)	現地
		(株)三十三銀行 営業本部営業企画部 営業企画課 課長	臼井 智博	代理出席 営業企画部 上席主任 三浦		オンライン
		中部電力(株) 事業創造本部 部長	黒木 信彦	欠席		－
	行政	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 副所長	伊藤 秀則	欠席		－
		三重県 県土整備部 都市政策課 副課長	クモ マサシ 雲 匡司	○	都市政策課市街地整備班 主幹兼係長 上田 雅章 (オンライン)	オンライン
		四日市市 副市長	荒木 秀訓	○		現地
賛助会員		(株)日建設計 都市社会基盤部門シビルグループ 部長	中村 出	○	都市社会基盤部門シビルグループ アソシエイト 河野 正雄 アソシエイト 豊島 香須弥 (オンライン)	現地
		早稲田大学 理工学術院 講師	小松 萌	欠席		－
		(株)マクニカ 官公ソリューション推進室 部長	福田 泰之	○	CPSソリューション開発部 課長 高瀬 浩中(オンライン) 担当 矢部 維(オンライン) 官公ソリューション推進室 担当 奈良岡 龍一(現地)	オンライン
オブザー バー	行政	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官	高濱 康亘	○	街路交通施設課 課長補佐 渡邊 祐 二輪駐車場係長 村川 達郎 (オンライン)	オンライン
		国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 係長	樫林 哲也	○		オンライン
		国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長	後藤 直紀	○	都市整備課 課長補佐 加藤 謙志(オンライン)	オンライン
		国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課長	江川 晃平	代理出席 交通政策部 交通企画課 専門官 田中 秀和		オンライン
		国土交通省 中部運輸局 三重運輸支局 首席運輸企画専門官	森 慶之	代理出席 三重運輸支局 企画調整担当 係員 松田 蒼生		現地

事務局	行政	四日市市 政策推進部	部長 川口 純史
		四日市市 政策推進部	課長 矢澤 賢太郎
		四日市市 危機管理統括部 危機管理課	課長 芝田 茂
		四日市市 シティプロモーション部 観光交流課	課長 大橋 剛
		四日市市 商工農水部 工業振興課	課長 釜淵 俊之
		四日市市 環境部 環境政策課	課長 赤堀 剛寛
		四日市市 総務部 デジタル戦略課 行政DX推進室	室長 吉田 純平
		四日市市 都市整備部 都市計画課	課長 蟹江 伸次郎
		四日市市 都市整備部 都市計画課	公共交通推進室長 鎌田 貴
		四日市市 都市整備部 都市計画課	副参事・計画GL 橋本 幹人
		四日市市 都市整備部 市街地整備課	課長 戸本 直弥
		四日市市 都市整備部 市街地整備課	副参事兼課長補佐 伊藤 直人

令和7年12月24日(水) 14:00~16:00

四日市商工会議所 3階 大会議室（オンライン併用）

